

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年6月25日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	フィリピン大学 Diliman校
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
✓	3. 公務員	✓	4. 非営利団体
	5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

フィリピン大学Diliman校。
 フィリピンのケソン市(マニラ首都圏)にあるフィリピン最大の国立大学です。フィリピン大学は他にもマニラ市やセブ島、ミンダナオ島など幅広い範囲にキャンパスを構えますが、Diliman校は其中でも最大級のキャンパスであり、様々な学部がここに集まります。フィリピンでは日本の東大にあたる位置づけにあり、数多くの優秀なフィリピン人大学生や東・東南アジアを中心として世界各国から留学生を受け入れています。

留学した動機

フィリピンという国自体に元々興味あり、学問的観点からも発展途上国の政治経済や貧困問題などの社会問題、人々の実際の暮らしぶりなどに興味があったから。また将来はフィリピンを含めた発展途上国に住む少数民族や貧困層などの助けになる仕事に就きたいと思っているので、この留学がその目標に向けた一つのステップになればと思ったから。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	8月~	2018年	5月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018年	学部4	年生の	8月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			52	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			24	単位
	留学後の取得(予定)単位			22	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2015年	4月入学	2020年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

二年生の時に留学する方が就活等に響かず良いのかもしれないが、進学振り分け等の東大の特殊なシステムにより二年生での留学は難しかったので、三年生での留学を決意した。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

わからないことは国際交流課の指示に従い、交流課を通して早めにフィリピン大学に連絡を入れる事。返信が遅い場合なども考えられるので早めの行動を心がけてください。また大学側からの手続きのための書類に関してはその段階で記入すべき箇所、記入が可能な場所などの点で曖昧であるため、わからないところは躊躇せずに質問してしまった方が早く確実に終わります。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

僕の場合は留学生用Visaの47(a)2 Visa は渡航後に大学側が代理で手配してくれました。ですが渡航前に自分で観光用Visaを取得する必要があったので、フィリピン大使館にて取得いたしました。Visaの発行には一週間程度を要しました。ただ早めにとることと大学側の指示にしっかり従うことをお勧めします。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

A型肝炎とB型肝炎の予防接種を二回、東大駒場の保健センターで実施しました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学側の提示した必須保険にのみ加入いたしました。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

教務課やコース主任の先生、授業を担当する先生などに留学をする時期を伝えわからないことは質問しました。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

英語に関してはあまり得意ではありませんでしたが、TOEFLを締め切り一か月ほど前に受けて基準を満たしました。私は運がよかったです。後がない状況での初受験だったので、これから留学する方には早めの準備をお勧めいたします。

フィリピン語に関しては多少なりとも学んでいくことをおすすめします。特に大学外の現地のコミュニティと仲良くになりたい場合や、CSWCDの授業の中でもより本格的なものを受けたい場合には渡航前に参考書等で基礎を身に付けておくべきです。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

フィリピン語の簡単な参考書。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
CD 124 Educational Strategies for Community Development	3	●	CD 11 Introduction to Community Development	3	●
Comm 3 Prqctical Speech Fundamentals	3	●	CD 100 Philippine Society and Community Development I	3	●
Fil 4 Pakikipag-usap sa Filipino	3	●	Fil 3 Pakikipag-usap sa Filipino	3	●

SW 120 Social Work and the Filipino Personality	3 ●	SEA 30 Asian Emporiums: Networks of Culture and Trade in Southeast Asia	3 ●
PE 2 Basic Volleyball		PE 2 Arnis	
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)			
主にコミュニティ開発や社会事業、フィリピン語について学習しました。どの授業も少人数制であり、フィリピン語の授業を除いてはクラスメイトの大半が現地の学生でした。論文を読んできて議論したり、レポート、プレゼンを作成する授業が多いです。			
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など			
1学期当たり4クラス(1クラス=3単位、週3時間)の履修に加え、体育を取っていました。基本的には1クラスにつき週2回それぞれ1時間半のセッションがありますが、3時間ストレートで週1回のセッションのものもあります。			
④学習・研究面でのアドバイス			
フィリピン語に不安がある方は、授業を決める前に学部や先生に英語で授業を行うかどうかを確認しましょう。			
⑤語学面での苦労・アドバイス等			
生活するうえでは必ずしも必要ではないのですが、フィリピン語の向上に苦労しました。とにかくフィリピン人の仲良い友達を見つけることが向上の糸口だと思います。			
生活について			
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)			
ACACIA Residence hallという大学の寮。1か月3000ペソ(6000円弱)でした。比較的綺麗ですが、他の留学生2人とのシェアルームです。共用の冷蔵庫が建物ごとにあります。エアコンはありません。WIFIはセカンドセメスターから導入されました。			
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)			
大学内は広く、学外に比べて環境が良いです。ショッピングモールも隣接しており便利ですが、遠出にはジプニーの使い方を覚える必要があります。食事は50ペソ(100円弱)から食べれますが、野菜が少ないです。ショッピングモールまで行けば日本食やファーストフードを含めた様々な料理が食べれます。お金についてはほとんどの人がATMからの引き出しをこまめに行っていました。クレジットカードはカフェやショッピングモール内ではほとんど使えます。マスターカードやVISAが多いです。			
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)			
大学内の治安はある程度よいと思います。しかし特に大学外では安全情報に気を付けて行動してください。夜中は暗い道を避けてなるべく複数人で行動するようにしましょう。また昼間でもスリなどの軽犯罪、交通安全に注意しましょう。			
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)			
・毎月の生活費とその内訳			
15000-25000ペソ程度。 家賃3000ペソ、食費10000程度、交通費3000ペソ、娯楽費3000-10000ペソ			
・留学に要した費用総額とその内訳			

200000-300000ペソ。毎月の生活費に加え航空券10万程度。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

日本学生支援機構(JASSO)平成29年度海外留学支援制度(協定派遣)奨学金を利用し、月7万円受給していました。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

友達と旅行に行ったり、スポーツをしたりしていました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

すごくフレンドリーなOILDの方々がサポートをしてくださいます。セメスターに1回程度、無料で旅行を企画してくれます。その他履修相談などにも乗ってくれます。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館は総合図書館と学部ごとにあります。食べる場所もキャンパス内に多くあります。ジムは会員制のもの無料で使える簡易なものを選んで使用することができます。WIFIは日本よりは弱いかもしれませんが、施設の中でしたら大半は使うことができます。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

日本でみんなと同じように就活することが難しいことはデメリットだと思います。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

NGOの種類の豊富さと就職の難しさに気づいた。現地のNGOに就職するためには、分野にもよるが、英語力だけでなく現地語の力が必須だと思った。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

ボランティア活動やインターンなど。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

留学することで様々な国の人の考え方や生活スタイル、文化、言語等を学ぶ機会が与えられます。特に現地の国民と実際に関わり共に生活することは、その国を理解すると同時に、その国の問題や問題の解決の糸口を考察するための大事なステップになるため、現地に根差した活動、事業等に興味があれば留学することをお勧めします。
留学では様々なことを自分の責任でこなす必要があるため、自立性が芽生えると思います。

②留学後の予定

就職活動を大学での単位取得と並行して行っていく予定です。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

下準備などはとても大変ですが、迷っているなら留学をした方がよいと思います。私の場合も締め切りぎりぎりまで決断しTOEFLを受験しました。もちろん早めに決断、準備するに越したことはないですが、ぎりぎりまで迷っている方はぜひチャレンジしてみてください。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

「フィリピン語」大上正直, ジェニー・ヨシザワ・大阪大学出版会。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。